



30周年記念「腹話術で笑顔に」 巧みな話芸、笑いで包む

「ろごす腹話術研究会ねひめ加西」が8月27日、市民会館で30周年記念公演を開催しました。15人の受講生らは相方の人形と登場し、テンポよく会話を繰り広げながら会場を沸かせました。ほかにも、落語家の露の紫さん、露の都さんによる高座もあり、観客は巧みな話芸に大笑いしました。指導者を務める春風小イチローさんは「市民の皆さんに支えられてこの日を迎えることができました。感謝しかありません」と感慨深く話しました。



敬老月間 歌謡ショーに笑顔 ふるさと芸能大会開催

ふるさと芸能大会が、9月2日から3日間、加西市シニアクラブ連合会主催で今年もコロナ対策を徹底しながら開催されました。初日は、兵庫県警察音楽隊のステージから始まり、昭和の懐かしい音楽など6曲が演奏されました。また、3日・4日は落語家の桂二乗、桂佐ん吉さんの落語と踊る歌手『葵かを里』さんの歌謡ショーに堪能し、締めくくりは楽しみ抽選会で会場が盛り上がり、楽しい会員交流となりました。



西宮ストークス バスケットボールクリニック開催

B2リーグで活躍するプロバスケットボールチームの西宮ストークスより綱井選手、渡邊選手をお招きし、市内・市外の小中学生を対象にクリニックを開催しました。

参加者たちは「スピードが違った。やっぱりプロは凄い」と話しました。



ろうそく灯して供養 五百羅漢で「千灯会」

五百羅漢のある羅漢寺で、薬師如来の縁日である8月8日に千灯会が開催されました。当日は338名の方がろうそくの火に照らされた石仏群の幻想的な雰囲気を楽しみました。併せて、市内活動団体等によるミニコンサートも行われ多くの方が聞き入りました。



北条鉄道第9期ステーションマスター 13人を任命

北条鉄道のボランティア駅長や鉄道サポーターとして活動する「ステーションマスター」にこのほど13人が就任されました。

任期は9月1日からの2年間で、各駅でイベントを企画するなど鉄道の魅力発信と活性化を担っていただきます。



人権文化をすすめる市民のつどいを開催 ハンセン病から人権学ぶ

8月21日、加西市民会館に元日本テレビアナウンサーで記者の藪本 雅子氏を招き、講演「ハンセン病に学ぶ人権 ～取材現場より～」で、日本社会に未だに存在する多くの差別や隠された真実について、取材現場でのエピソードやメディアの裏側なども交えてお話いただきました。また、人権ポスター表彰式も実施し、259点の応募作品より、入賞に選ばれた児童生徒への表彰を行いました。



大粒！ゴールデンベリー A 賀茂幼稚園 園児が収穫体験

賀茂幼稚園の5歳児13名が北本ファームぶどう園に招待され、ぶどう狩りの体験をしました。おいしいぶどうの見分け方を教えてもらった園児たちは、1つを選び、専用のハサミを使って収穫しました。小谷有沙さんと橋本心桜さんが「切るとき、思ったより硬かった」「おうちに帰って家族とぶどうを食べるのが楽しみ」と話しました。



古代鏡展示館 秋季企画展 儀礼の器 来年3月まで開催

古代鏡展示館が秋季企画展を開催し、殷の時代（紀元前17世紀～紀元前11世紀頃）の青銅の器を展示しています。今回は千石コレクションの中でも、この期間中でしか見ることのできない作品ばかりであり、担当者は「器の模様も細かくぎっしり詰まっているのが特徴。たくさんの人に見てほしい」と話しました。令和5年3月12日まで開催。古代鏡展示館の情報は右のQRコードからご覧ください。

